

令和6年度 第1学期終業式あいさつ（2024年7月19日）

○ 皆さんこんにちは。本日の2時間授業の後の大掃除では、教室などの清掃区域を懸命に清掃していました。学校をきれいにしてくれて、ありがとうございます。

○ 先日1学期の成績会議を行い、皆さんの学習状況や出欠状況を確認しました。多くの人が、学校生活を充実させる努力をしていると感じました。一方、目標としていた結果を出すことができなかつた人もいたと思います。2学期に向けて、前向きに、「夢と志をもって」努力を継続すれば、結果はおのずとついてきます。

本日は、明日から44日間の夏季休業日を迎えるにあたり2点のお話をします。

○ 1点目は、グローバル化が進展する社会の中で自ら課題を設定して解決に導く力を伸ばそうということです。これは本校のスクールミッションの一つです。

「総合的な探究の時間」で1年生はグループごとに地域の魅力発見と課題解決をSDGsと関連付けて考察し、探究の基礎を学んでいます。7月10日に中間発表として各クラスでパワーポイントを用いたプレゼンテーションが行われました。私も見学しましたが、いい形で探究を進めていることが伝わってきました。2年生は東京農工大学、東京学芸大学等との高大連携支援を受け、仮説と検証に基づく個人論文の作成に取り組んでいます。どんな研究論文となるか、今から楽しみにしています。長期の夏季休業日中も探究活動を計画的に進めてほしいと思っています。

この夏、都立高校生の海外派遣研修として本校から2年生4名が8月17日から25日までアメリカ合衆国のニューヨークやボストンでの研修に参加します。マサチューセッツ工科大学等の研究機関、文化施設、国連施設、企業等の訪問や現地の方との交流をとおして見聞を広め、ぜひその成果を多くの人に伝えてください。

○ 2点目は、皆さん一人の人間として誇り高く生きようということです。

4月下旬に、苦情の連絡と感謝の手紙が届きました。苦情は、自転車通学をしている一部の生徒が自転車走行中にヘルメットを着脱するなど危険な状態で運転しているので改善してほしいという内容でした。一方、感謝の内容は、手紙を書かれた方の自転車が公民館の駐輪場で倒れ、ペダルが他の自転車のスポークに挟まり途方にくれていたところ、本校の生徒が手を真っ黒にして汗だくになりながら笑顔で助けてくれたというものでした。都立高校の生徒の皆さんは身の安全を守るため、自転車通学の際は常にヘルメットを着用することが必須となっています。多くの生徒はこのルールを守っていますが、残念ながら一部の生徒は守ることができていません。今後はいい手紙だけが届くように、今一度定められたルールを守って登下校してください。

7月14日付朝日新聞朝刊の「折々のことば」は人としての在り方を考えさせられる内容でした。一読されることを勧めます。人との共存を可能にする「人らしく」生きるとはどういうことか。この夏季休業日中に考えを深めてみてはいかがでしょうか。

○ 最後に、皆さんに伝えたいことがあります。

学校の中で絶対に性暴力やセクハラが行われないようにするための法律が制定されています。その相手が先生だった場合や学校に相談しにくい場合に、皆さんが相談できる場が設定されています。2日前に生徒の皆さんに「相談シート」を配布しました。

「性暴力やセクハラ」、「体罰」は皆さんの心と体を傷つける行為であり、決してあってはならないことです。もし、皆さんが性暴力やセクハラ、体罰に遭いそうになったら、または被害に遭ってしまったら、一人で抱え込んだり、我慢したりせずに、先生や保護者の方など、信頼できる大人に相談してください。話したくないときには、「相談シート」に書いて送ったり、相談窓口で電話やメール等で連絡したりすることもできます。友だちが性暴力やセクハラ、体罰を受けるのを見たときも、迷わず相談してください。私たち教職員は、生徒の皆さんの心と体を大切に守ります。

私の話は以上です。では、9月2日（月）の始業式で元気な姿でまた会いましょう。